広域連携・海外展開の推進と水道技術の継承

大阪市水道局における広域連携・海外展開の推進

【他の事業体との広域的な連携】

平成18年度より、大阪市水道がこれまで築き上げてきた技術的ストックや人材等を活用し、ソフト・ハード両面にわたり、他の水道事業体との広域的な連携を推進しています。

○技術業務に関する受託

水質試験などの各種分析や水安全計画・危機管理マニュアルなどの作成、施設更新工事に伴う設計・施工監理など、他の水道事業体のニーズに応じた技術支援を行っています。

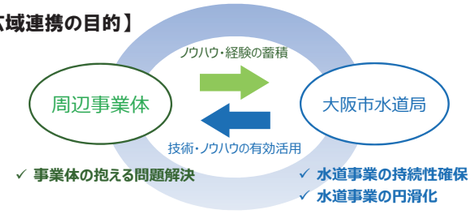
○災害時における相互応援

災害時等における応急復旧および応急給水の相互応援体制の構築、合同防災訓練の実施などを行っています。

○人材育成

平成22年から運用している体験型研修センターでは、「広域的な研修拠点」として、本市職員のみならず、他都市や海外の水道事業を担う人材の研修の場として活用しています。

【広域連携の目的】



○緊急時用連絡管の整備

本市と隣接する事業体との間で、緊急時や災害時の相互応援給水で使用する緊急時用連絡管を設置しています。

○浄水技術に関する調査研究

平成20年度から、相互の技術的業務の連携を図り、水道技術の発展に貢献するため、最適先端処理技術実験施設（新実験施設）を利用した共同研究に取り組み、平成30年度にハイブリッド膜ろ過システムに関する評価と今後の展望についてとりまとめ、その後も定期的な情報交換を実施しています。

【水道事業の海外展開】

大阪市水道局では、当局の持つ技術、ノウハウなどを有効活用し、アジアを中心とした水道事業の発展、大阪・関西経済の活性化及び職員の技術力向上を目的に、官民連携による海外展開の取組などを進めています。

○ホーチミン市水道との技術交流に関する取組

ベトナム国・ホーチミン市水道の抱える課題の多くは、都市が成長していく過程で直面するものであり、これらを経験・克服してきた当局の技術・ノウハウは、そうした課題解決に貢献できるものと考え、平成21年12月9日に、ホーチミン市水道総公社（SAWACO:Saigon Water Corporation）と大阪市水道局との友好関係の促進と相互の発展を目的とした「技術交流に関する覚書」を締結（平成27年11月18日、平成30年12月3日に更新）し、GtoGの協力体制を構築しています。

この覚書に基づき、平成22年度より、SAWACOからの職員の受入れを実施しています。

ホーチミン市水道との覚書締結式
（平成 30 年 12月3日）

○官民連携による取組

官民連携による取組として、国の調査プロジェクト等に民間企業と共同で参画・実施しています。

（1）配水場整備に向けた調査プロジェクト
当局と民間企業の共同により、ホーチミン市の配水ネットワーク改善をテーマにした調査プロジェクトを実施。

（2）給水装置工事に関する施工技術向上プロジェクト
在阪の民間企業と共同で、ホーチミン市水道の漏水改善を目的とした給水装置工事の施工技術向上プロジェクトを実施。

現地調査

水道技術の継承

本市は、創業120年に及ぶ歴史の中で蓄積されてきた水道技術で支えられており、過去、全国に先駆けた数々の調査研究による成果を事業に導入、実用化させながら現在に至っている。

今後とも、安全で良質な水の安定供給はもとより、時代の要請に見合った水道サービスを高い水準で持続的かつ効率的に確保していくためには、こうした水道技術の維持、発展が重要であり、水道技術開発のための実用的な調査研究体制、実効ある技術研修体制の確立、国内外との技術交流の促進により、本市水道技術の確実な継承に取り組んでいく必要がある。

現在、産官学分野との幅広い連携を図りつつ、水道局技術研究委員会、水道事業Ｒ＆Ｄプログラム等、総合的かつ先進的な調査研究体制のもと、平成21年度に完成した最適先端処理技術実験施設を用いて、常に日本の水道界をリードする技術を研鑽している。また、給・配水管工事や浄水処理技術等について、実際に体験しながら技術を学ぶ「体験型研修センター」を整備し、これまで培われた貴重な技術を効果的かつ効率的に継承できる体制を構築している。これらの取組により、局内だけでなく、国内外の水道事業体との技術交流を図り、水道技術の継承に取り組んでいる。

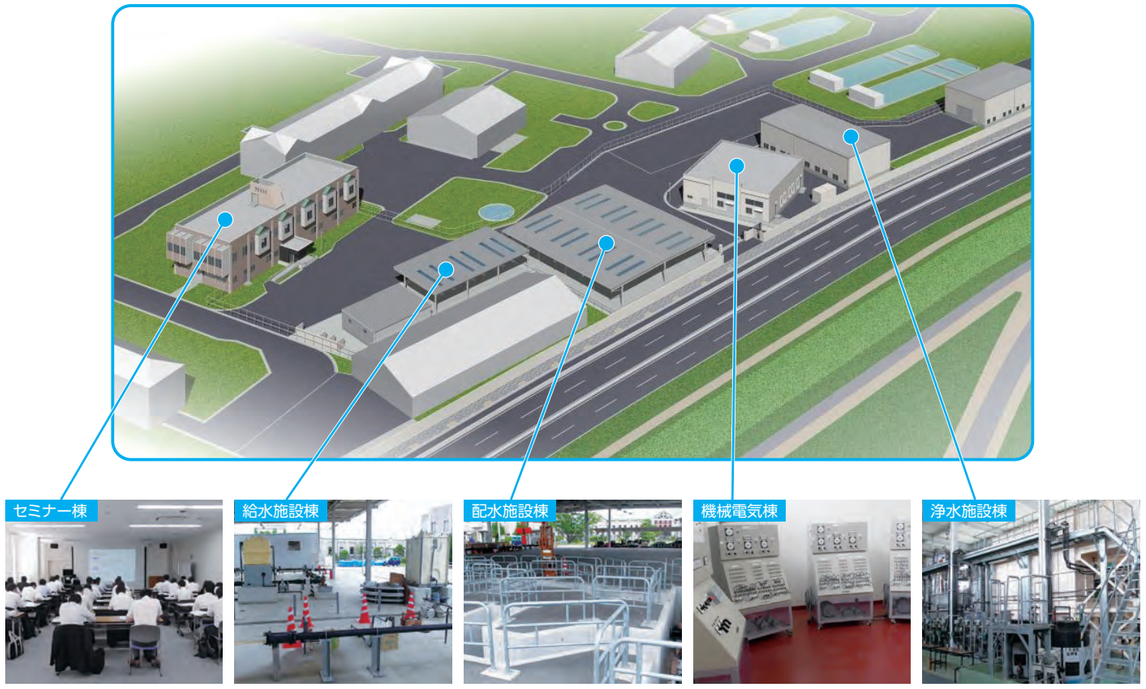
最適先端処理技術実験施設

	目　的　・　備　考
調査研究体制の充実	
大阪市水道局技術研究委員会	水道技術の向上及び開発に関する事項についての調査、審議（発足：昭和45年　これまでのテーマ：高度浄水処理、ISO9001認証取得など）
大阪市水道事業R&Dプログラム	水道事業の各部門の技術全般における当面する課題から中長期的な検討課題についての調査研究及び技術力向上に向けて取り組むもの（改定：平成30年４月）
大阪市水道局技術開発共同研究等審査会	当局以外の者と共同で行う水道技術に関する研究、調査及び試験の実施（発足：平成13年７月）
実効ある技術研修体制の確立	
局内専門別技術研修（新規・基礎・応用）	講義及び実技研修を実施することによる、技術及び技能職員等の育成並びに技術水準の向上
技術交流の促進	
技術談話会	職員の技術向上に資するため、これまで培ってきた様々な知見、技術的成果についてのプレゼンテーション（発足：昭和25年　「令和元年８月現在210回開催」）
令和アカデミー講座	職員の有する学術的な専門知識に基づく講義を通じた人材育成・技術継承の場
水道事業研究	水道事業の経営並びに技術の研究を行い局員の執務上の指導と能率の増進を図る（発刊：昭和24年）
IWA国際水会議他、各種国際会議・ワークショップへの参加	職員の技術交流及びスキルアップ

体験型研修センター　～技術継承と広域研修拠点の場の構築～

本研修センターは、取水から給水に至る水道のトータルな運営ノウハウが習得できる総合的な教育訓練施設で、平成22年度に「セミナー棟」、「給水施設棟」、平成23年度には「配水施設棟」、加えて平成24年度からは「機械電気棟」及び「浄水施設棟」の供用を開始し、水道事業の各分野の講義と実技体験による効果的な研修を実施しており、本市職員の人材育成のみならず、他都市や海外の水道事業を担う人材の研修の場として活用しています。

■体験型研修センター施設図



■水道事業体向け技術研修及び施設貸出しのご案内

大阪市水道局ホームページ
「技術研修受講者募集について」http://www.city.osaka.lg.jp/suido/page/0000125043.html
「体験型研修センター施設の貸出しについて」http://www.city.osaka.lg.jp/suido/page/0000266607.html